



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月3日

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社
コード番号 1730 URL <https://www.asofoam.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花岡 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 井上 喜博

TEL 044-422-2061

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,787	4.0	9		0		4	
2022年3月期第3四半期	2,680	25.0	55		45		36	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	1.19	
2022年3月期第3四半期	10.79	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
2023年3月期第3四半期	3,472		1,411		40.7	
2022年3月期	3,300		1,411		42.8	

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 1,411百万円 2022年3月期 1,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	11.3	50		60		42		12.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,420,000 株	2022年3月期	3,420,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	6,271 株	2022年3月期	6,232 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,413,739 株	2022年3月期3Q	3,413,768 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
受注高、完成工事高及び繰越工事高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数の増減が繰り返され、またウクライナ情勢の長期化や円安の進行による資源・原材料価格高騰を起因とする物価の上昇もあり、景気は方向感が定まらない状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、2022年度の建設投資の名目値はわずかに増加が見込まれているものの、実質値では減少が予想され、公共工事については、引き続き全体的に予算の執行状況が思わしくなく受注競争も激しくなっており、また原材料や資材価格、輸送費など様々な値上げの波が建設業界を悩ませました。

このような状況の下、当社は、引き続き新型コロナ感染症の感染予防に注力するとともに、当事業年度を初年度とする3か年中期経営計画の目標達成に向け営業と施工の効率化に取組み、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の業績は、見込んでいた公共工事の発注の遅れが一部で見られ、また受注競争の激化による失注もあり、受注高が2,469百万円（前年同四半期比24.8%減）、一部工事での着工遅れや工事の進捗が当初予定を下回ったことから、売上高が2,787百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

各段階の損益につきましては、工事原価や販管費の低減に努め、建設資材価格の上昇については請負金額に価格転嫁できましたが、売上高の絶対額の不足により販管費を賄えず、営業損失△9百万円（前年同四半期は営業損失△55百万円）、経常損失△0百万円（前年同四半期は経常損失△45百万円）、四半期純損失△4百万円（前年同四半期は四半期純損失△36百万円）となりました。

主要な工事の状況は、次のとおりであります。

（気泡コンクリート工事）

受注高は、管路中詰工事が見込んでいた一部大型工事の元請けからの発注時期の翌事業年度へのずれ込みがありました。554百万円（前年同四半期比1.9%増）と微増したものの、軽量盛土工事が見込んでいた一部大型工事の発注遅れなどにより1,036百万円（前年同四半期比29.0%減）、空洞充填工事も見込んでいた一部大型工事の発注遅れや失注などから332百万円（前年同四半期比31.0%減）と減少したことで、気泡コンクリート工事全体の受注高は1,923百万円（前年同四半期比22.6%減）と前年同四半期に比べ大幅な減少となりました。当社の気泡コンクリート工事は公共工事の比率が高いため、受注高については工事の発注動向に左右される傾向があります。

完成工事高につきましては、空洞充填工事が受注高の減少により387百万円（前年同四半期比23.7%減）と減少しましたが、軽量盛土工事が前事業年度からの繰越工事が多かったことから983百万円（前年同四半期比10.7%増）、管路中詰工事も607百万円（前年同四半期比3.5%増）と増加したことで、気泡コンクリート工事全体の完成工事高は1,977百万円（前年同四半期比0.2%減）と前年同四半期に比べ微減となりました。

（地盤改良工事）

価格競争が激しく、見込んでいた複数の大型工事の失注などにより受注高は545百万円（前年同四半期比32.0%減）となりました。

完成工事高につきましては、前事業年度からの繰越工事が多かったことから794百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。

なお、当社の主たる事業の特徴として、完成工事高の割合が下半期に偏るといった傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ171百万円増加し3,472百万円となりました。その主な要因としましては、未収還付法人税等が20百万円、有形固定資産が39百万円それぞれ減少したものの、現金預金が36百万円、受取手形が83百万円、電子記録債権が37百万円、契約資産が30百万円、原材料及び貯蔵品が22百万円、無形固定資産が17百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ171百万円増加し2,060百万円となりました。その主な要因としましては、未払金が45百万円、賞与引当金が21百万円それぞれ減少したものの、支払手形が19百万円、電子記録債務が155百万円、借入金が26百万円、未払消費税等が14百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ0百万円増加し1,411百万円となりました。その主な要因としましては、当第3四半期累計期間に四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少しましたが、その他有価証券評価差額金が4百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月28日に公表しました2023年3月期通期の業績予想について、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	730,184	766,430
受取手形	21,685	104,928
電子記録債権	239,418	276,820
完成工事未収入金	447,715	431,039
売掛金	275	6,864
契約資産	83,043	113,482
未収還付法人税等	20,688	-
未収消費税等	7,667	-
未成工事支出金	930	5,791
原材料及び貯蔵品	52,009	74,702
前払費用	18,219	22,618
その他	4,369	16,072
流動資産合計	1,626,208	1,818,750
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	42,759	40,039
構築物(純額)	1,090	1,328
機械及び装置(純額)	213,029	186,742
車両運搬具(純額)	131	103
工具、器具及び備品(純額)	12,813	17,106
土地	1,100,858	1,100,858
リース資産(純額)	35,311	26,333
建設仮勘定	6,446	-
有形固定資産合計	1,412,441	1,372,512
無形固定資産		
商標権	616	566
ソフトウェア	4,269	22,177
電話加入権	2,350	2,350
ソフトウェア仮勘定	2,877	2,877
無形固定資産合計	10,113	27,972
投資その他の資産		
投資有価証券	24,925	30,852
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	4,553	4,553
長期前払費用	2,646	2,511
繰延税金資産	106,403	102,189
敷金及び保証金	13,364	12,789
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△19,968	△19,968
投資その他の資産合計	252,098	253,100
固定資産合計	1,674,654	1,653,585
資産合計	3,300,862	3,472,336

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	131,688	151,346
電子記録債務	337,431	492,707
工事未払金	263,545	275,127
1年内返済予定の長期借入金	209,964	203,644
リース債務	13,285	12,992
未払金	110,226	64,591
未払費用	4,250	5,559
未払法人税等	3,336	4,350
未払消費税等	-	14,893
未成工事受入金	11,464	11,416
賞与引当金	26,197	4,924
その他	-	7,955
流動負債合計	1,111,388	1,249,509
固定負債		
長期借入金	457,029	490,286
リース債務	35,446	26,477
退職給付引当金	245,006	248,940
役員退職慰労引当金	40,541	45,607
固定負債合計	778,024	811,311
負債合計	1,889,412	2,060,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	885,000	885,000
固定資産圧縮積立金	591	511
繰越利益剰余金	113,044	109,063
利益剰余金合計	1,022,686	1,018,625
自己株式	△1,553	△1,572
株主資本合計	1,410,733	1,406,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	716	4,862
評価・換算差額等合計	716	4,862
純資産合計	1,411,449	1,411,514
負債純資産合計	3,300,862	3,472,336

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	2,680,369	2,787,842
完成工事高	2,654,649	2,771,958
商品売上高	25,719	15,884
売上原価	2,226,533	2,276,824
完成工事原価	2,212,488	2,265,936
商品売上原価	14,045	10,887
売上総利益	453,835	511,017
完成工事総利益	442,161	506,021
商品売上総利益	11,674	4,996
販売費及び一般管理費	509,760	520,531
営業損失(△)	△55,925	△9,513
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	242	210
受取配当金	6,202	4,632
為替差益	282	-
受取技術料	8,361	9,400
雑収入	671	637
営業外収益合計	15,763	14,883
営業外費用		
支払利息	4,764	4,589
為替差損	-	115
支払技術料	906	671
雑支出	100	-
営業外費用合計	5,771	5,376
経常損失(△)	△45,933	△6
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純損失(△)	△45,933	△6
法人税、住民税及び事業税	1,610	1,621
法人税等調整額	△10,707	2,433
法人税等合計	△9,097	4,054
四半期純損失(△)	△36,836	△4,061

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

受注高、完成工事高及び繰越工事高

(1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	2,485,658	75.7	1,923,488	77.9	3,025,265	73.2
地盤改良工事	802,376	24.4	545,839	22.1	1,111,866	26.9
その他工事	△4,700	△0.1	—	—	△2,820	△0.1
合計	3,283,335	100.0	2,469,328	100.0	4,134,312	100

(2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,982,644	74.7	1,977,899	71.4	2,544,671	71.3
地盤改良工事	656,110	24.7	794,058	28.6	1,005,279	28.2
その他工事	15,895	0.6	—	—	17,775	0.5
合計	2,654,649	100.0	2,771,958	100.0	3,567,726	100.0

(3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間末 2021年12月31日		当第3四半期累計期間末 2022年12月31日		前事業年度末 2021年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	948,898	75.8	872,066	98.3	926,478	77.9
地盤改良工事	303,087	24.2	15,189	1.7	263,408	22.1
その他工事	—	—	—	—	—	—
合計	1,251,986	100.0	887,256	100.0	1,189,886	100.0

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当四半期受注高にその増減額を含んでおります。したがって、当四半期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 当四半期末繰越工事高は（前事業年度末繰越工事高+当四半期受注工事高-当四半期完成工事高）に一致しております。